

第2章

テレビメディアによる障害者スポーツ情報発信 環境調査

調査概要

(1)調査目的

東京 2020 パラリンピック大会の開催に合わせ、障害者スポーツの各種メディア(テレビ・新聞など)での露出状況(量的、番組傾向、トピックスなど)を把握し、影響度や障害者スポーツ認知度との相関を図ることを目的とする。

(2)データ抽出内容

放送日時、テレビ局、番組名、放送時間帯、開始時刻、終了時刻、番組カテゴリ、番組内コーナーなどの項目でデータを抽出する。

(3)データ抽出条件

東京都内での地上波デジタル(メインのみ)の放送環境を有するテレビ局の東京エリア放送分のデータをもとに、検索対象ワードとして、①“パラリン”、②“障害” AND “スポーツ”、③“障がい” AND “スポーツ”の3条件を設定した。①について、“パラ”と設定した場合、パラリンピック関連以外のワードが大量に対象となってしまいうために、本調査では、「パラリンピック」「パラリンピアン」のいずれのワードが対象となるように、“パラリン”を検索対象ワードに設定した。なお、対象となったデータ件数は以下の通りである。

(図表 2-1)

	①“パラリン”	②“障害”AND“スポーツ”	③“障がい”AND“スポーツ”
北京大会	1,024 件	59 件	1 件
ロンドン大会	1,739 件	25 件	1 件
リオ大会	3,336 件	51 件	17 件
東京大会	5,783 件	119 件	36 件

(4)データ抽出期間

(図表 2-2)

	開会前(31 日間)	開催中(12 日間)	開催後(31 日間)
北京大会	2008/8/6~2008/9/5	2008/9/6~2008/9/17	2008/9/18~2008/10/17
ロンドン大会	2012/7/29~2012/8/28	2012/8/29~2012/9/9	2012/9/10~2012/10/9
リオ大会	2016/8/7~2016/9/6	2016/9/7~2016/9/18	2016/9/19~2016/10/18
東京大会	2021/7/24~2021/8/23	2021/8/24~2021/9/5	2021/9/6~2021/10/5

(5) データ提供者

株式会社エム・データ (M Data CO.,LTD)

住所: 東京都千代田区内幸町 2-1-1 飯野ビルディング 9 階

TEL: 03-6826-7060

URL: <https://mdata.tv/>

(6) 集計・分析

株式会社サーベイリサーチセンター 調査事務局

住所: 東京都荒川区西日暮里 2-40-10

TEL: 03-3802-6775

URL: <http://www.surece.co.jp>

要約

- ◆ 過去 4 大会の放送時間は、北京大会が 56 時間 45 分 18 秒、ロンドン大会が 78 時間 14 分 15 秒、リオデジャネイロ大会が 234 時間 36 分 59 秒、東京大会が 230 時間 47 分 9 秒と、東京大会とリオデジャネイロ大会では大きな違いは見られなかった。
- ◆ 「開催前」「開催中」「開催後」の東京大会の放送時間を見ると、「開催前」は北京大会の約 6 倍増、「開催中」は北京大会の約 4 倍増、「開催後」は北京大会の約 3 倍増であった。一方で、東京大会の「開催後」は、急増したリオデジャネイロ大会から 3 分の 1 に減少した。
- ◆ 過去 4 大会のテレビ局の合計放送時間は、「NHK 総合」(215 時間 59 分 3 秒)が最も多く、ついで、「NHK 教育」(94 時間 41 分 9 秒)、「TBS」(84 時間 57 分 19 秒)であった。大会別に 20 時間以上放送しているテレビ局は、北京大会、ロンドン大会では「NHK 総合」「NHK 教育」の 2 局、リオデジャネイロ大会では「NHK 総合」「日本テレビ」「TBS」「フジテレビ」「テレビ朝日」の 5 局、東京大会では「NHK 総合」「NHK 教育」「日本テレビ」「TBS」「フジテレビ」「テレビ朝日」の 6 局であった。「NHK 総合」のリオデジャネイロ大会の放送時間が、北京・ロンドン大会の約 4 倍に急増したが、東京大会ではさらに増加した。
- ◆ 過去 4 大会の番組カテゴリー別の合計放送時間は、「情報/ワイドショー」(186 時間 30 分 5 秒)が最も多く、ついで、「ニュース/報道」(178 時間 46 分 55 秒)、「スポーツ」(152 時間 11 分 19 秒)であった。「情報/ワイドショー」「ニュース/報道」「ドキュメンタリー」「バラエティー」での放送時間が北京・ロンドン大会からリオデジャネイロ大会で急増したが、東京大会では「情報/ワイドショー」「ニュース/報道」が減少、「スポーツ」が約 2 倍増加した。
- ◆ テレビ局の番組カテゴリー別に 10 時間以上放送したのは、北京大会では NHK 教育「スポーツ」、ロンドン大会では NHK 総合と NHK 教育「スポーツ」であったが、リオデジャネイロ大会では、NHK 総合「ニュース/報道」「スポーツ」、日本テレビ「情報/ワイドショー」「ニュース/報道」、TBS「情報/ワイドショー」、フジテレビ「情報/ワイドショー」「ニュース/報道」、テレビ朝日「情報/ワイドショー」「ニュース/報道」、東京大会では、NHK 総合「情報/ワイドショー」「ニュース/報道」「スポーツ」、NHK 教育「スポーツ」、日本テレビ「情報/ワイドショー」「ニュース/報道」、TBS「情報/ワイドショー」、フジテレビ「情報/ワイドショー」、テレビ朝日「情報/ワイドショー」であった。東京大会で NHK 総合「ニュース/報道」「スポーツ」が 30 時間を超えた一方、リオデジャネイロ大会で 30 時間を

超えていた TBS「情報／ワイドショー」が東京大会では半減した。

- ◆ 番組内で取り上げられたコーナー別の放送時間は、過去 4 大会ともに「スポーツ」が最も多く、東京大会では、北京大会(42 時間 47 分 3 秒)から 3 倍増となったリオデジャネイロ大会(122 時間 27 分 7 秒)よりさらに増加して 171 時間 40 分 51 秒であった。

調査報告

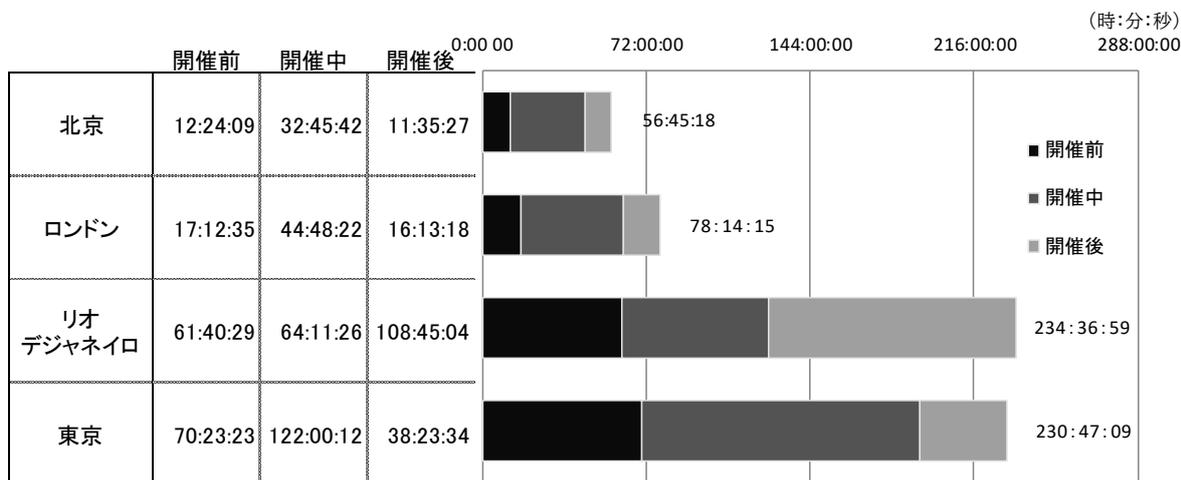
1. メディア放送時間(単純集計)

北京大会、ロンドン大会、リオデジャネイロ大会、東京大会の地上波テレビ放送をパラリンピックの開催前1か月、開催中、開催後1か月でみると、4大会の合計放送時間は、600時間23分41秒であった。

1.1 過去4大会の放送時間の変遷

大会ごとでは、北京大会が56時間45分18秒、ロンドン大会が78時間14分15秒、リオデジャネイロ大会が234時間36分59秒、東京大会が230時間47分9秒であった(図表2-3)。リオデジャネイロ大会では、北京大会の約4倍の合計放送時間となったが、リオデジャネイロ大会と東京大会では合計放送時間に大きな違いはみられなかった。

図表 2-3 過去4大会の放送時間



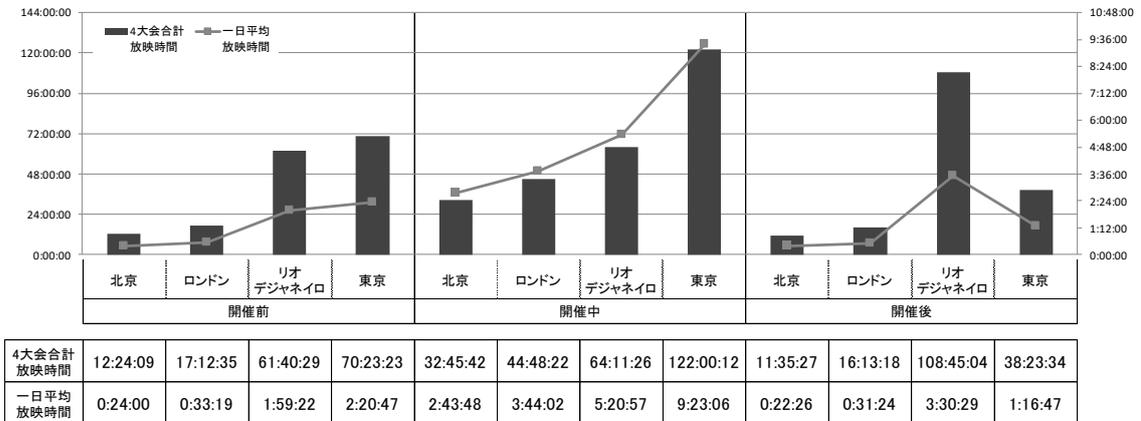
1.2 開催前・開催中・開催後別の放送時間

パラリンピック大会の「開催前」「開催中」「開催後」に分けて、合計放送時間と一日平均放送時間についてみた(図表2-4)。「開催前」「開催後」は31日間、「開催中」は12日間として、一日平均放送時間を算出した。

「開催前」では、北京大会からロンドン大会にかけて一日平均放送時間は微増であったが、リオデジャネイロ大会にかけて、24分から1時間59分22秒と約4倍増となり、東京大会ではさらに増加して2時間20分47秒であった。「開催中」では、北京大会からリオデジャネイロ大会にかけて倍増したが、東京大会ではさらに増加して、北京大会と比べ約3倍増であった。一方で、「開催後」では、北京大会と比較すると、リオデジャネイロ大会は22分26秒(北京大会)から3時間30分29秒(リオデジャネイロ大会)と約9倍増であったが、東京大会では1時間16分47秒と、リオデジャネイロ大会から約3分の1に減少した。

図表 2-4 大会開催前、開催中、開催後の放送時間

(時:分:秒)

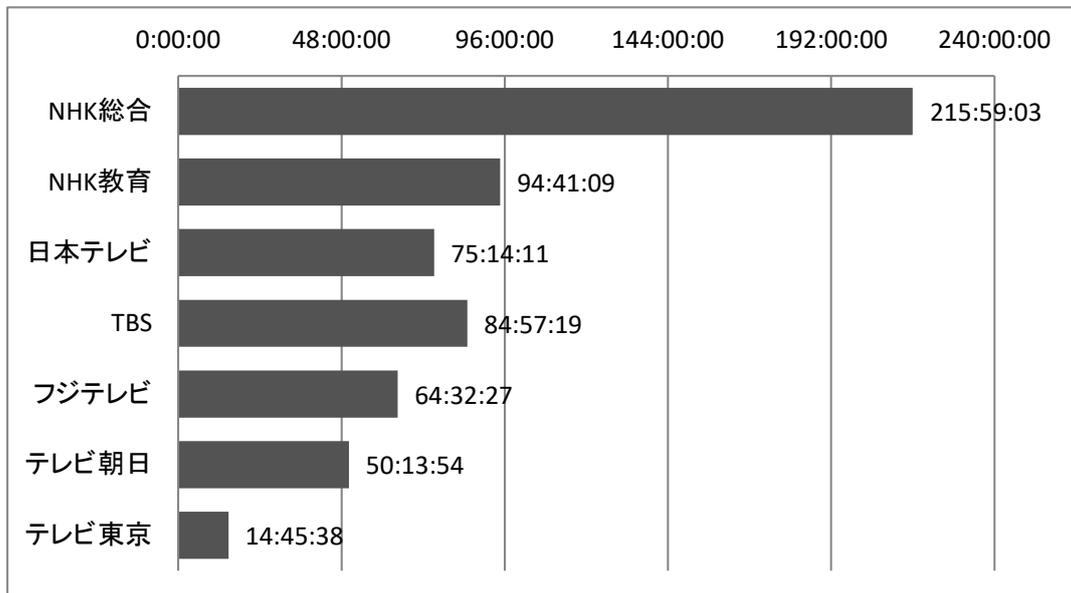


1.3 テレビ局ごとの放送時間

過去4大会のテレビ局の合計放送時間は、「NHK 総合」が 215 時間 59 分 3 秒と最も多く、ついで、「NHK 教育」の 94 時間 41 分 9 秒、「TBS」の 84 時間 57 分 19 秒であった(図表 2-5)。

図表 2-5 テレビ局の放送時間(過去 4 大会合計)

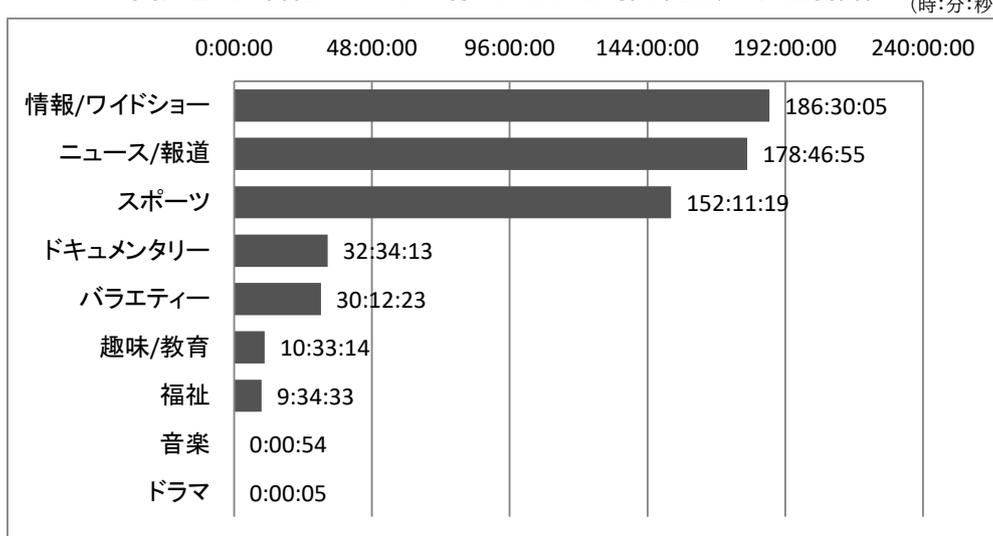
(時:分:秒)



1.4 番組カテゴリー別にみる放送時間

過去4大会の番組カテゴリー別の合計放送時間は、最も放送している番組カテゴリーは「情報/ワイドショー」(186 時間 30 分 5 秒)で、ついで、「ニュース/報道」(178 時間 46 分 55 秒)、「スポーツ」(152 時間 11 分 19 秒)であった(図表 2-6)。

図表 2-6 番組カテゴリー別にみる放送時間(過去 4 大会合計)



注) 番組カテゴリーは番組自体の分類を指し、番組内コーナーは番組内で取り上げたコーナーのことを指す。例えば、ニュース番組内のスポーツコーナーでパラリンピアンについての話題を取り上げた場合、番組カテゴリーは「ニュース/報道」、番組内コーナーは「スポーツ」となる。

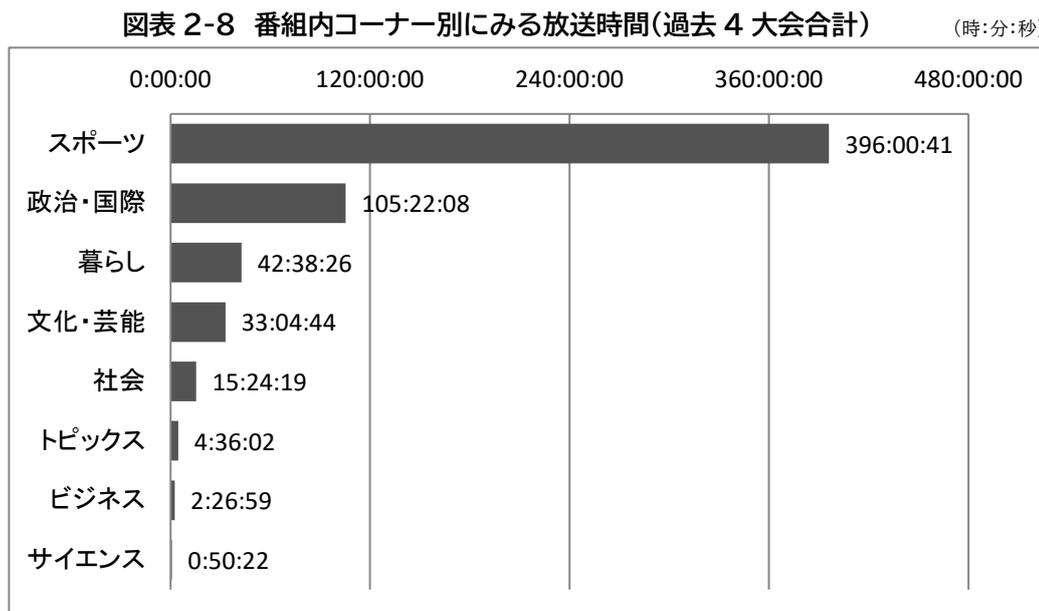
参考までに、番組カテゴリー別に主な番組名をまとめると、図表 2-7 の通りである。

図表 2-7 番組カテゴリー別にみる主なテレビ番組

番組カテゴリー	『番組名』(テレビ局名)
情報/ワイドショー	『東京2020パラリンピックあさナビ(NHK)』 『ZIP! (日本テレビ)』『ヒルナンデス! (日本テレビ)』『スッキリ(日本テレビ)』 『あさちゃん! (TBS)』『ひるおび! (TBS)』 『めざましテレビ(フジテレビ)』『Mr. サンデー(フジテレビ)』 『グッド! モーニング(テレビ朝日)』『羽鳥慎一モーニングショー(テレビ朝日)』など
ニュース/報道	『NHKニュースおはよう日本(NHK)』『ニュース7(NHK)』『ニュースウオッチ9(NHK)』 『真相報道バンキシャ! (日本テレビ)』『news zero(日本テレビ)』 『news23(TBS)』『JNNニュース(TBS)』 『FNNLiveNews イット! (フジテレビ)』『FNNニュース(フジテレビ)』 『報道ステーション(テレビ朝日)』『スーパーJチャンネル(テレビ朝日)』など
スポーツ	『東京2020オリンピックデイリーハイライト(NHK)』 『Going! Sports & News(日本テレビ)』『東京パラリンピック総集編(日本テレビ)』 『東京オリンピック(TBS)』『東京パラリンピック陸上ハイライト(TBS)』 『S-PARK(フジテレビ)』『東京パラリンピック開幕直前スペシャル(フジテレビ)』 『東京五輪プレミアム(テレビ朝日)』『GetSports(テレビ朝日)』など

1.5 番組内コーナー別にみる放送時間

番組内で取り上げられたコーナー別に過去 4 大会の合計放送時間をみると、最も取り上げられることが多かったコーナーは「スポーツ」(396 時間 41 秒)で、ついで、「政治・国際」(105 時間 22 分 8 秒)、「暮らし」(42 時間 38 分 26 秒)であった(図表 2-8)。



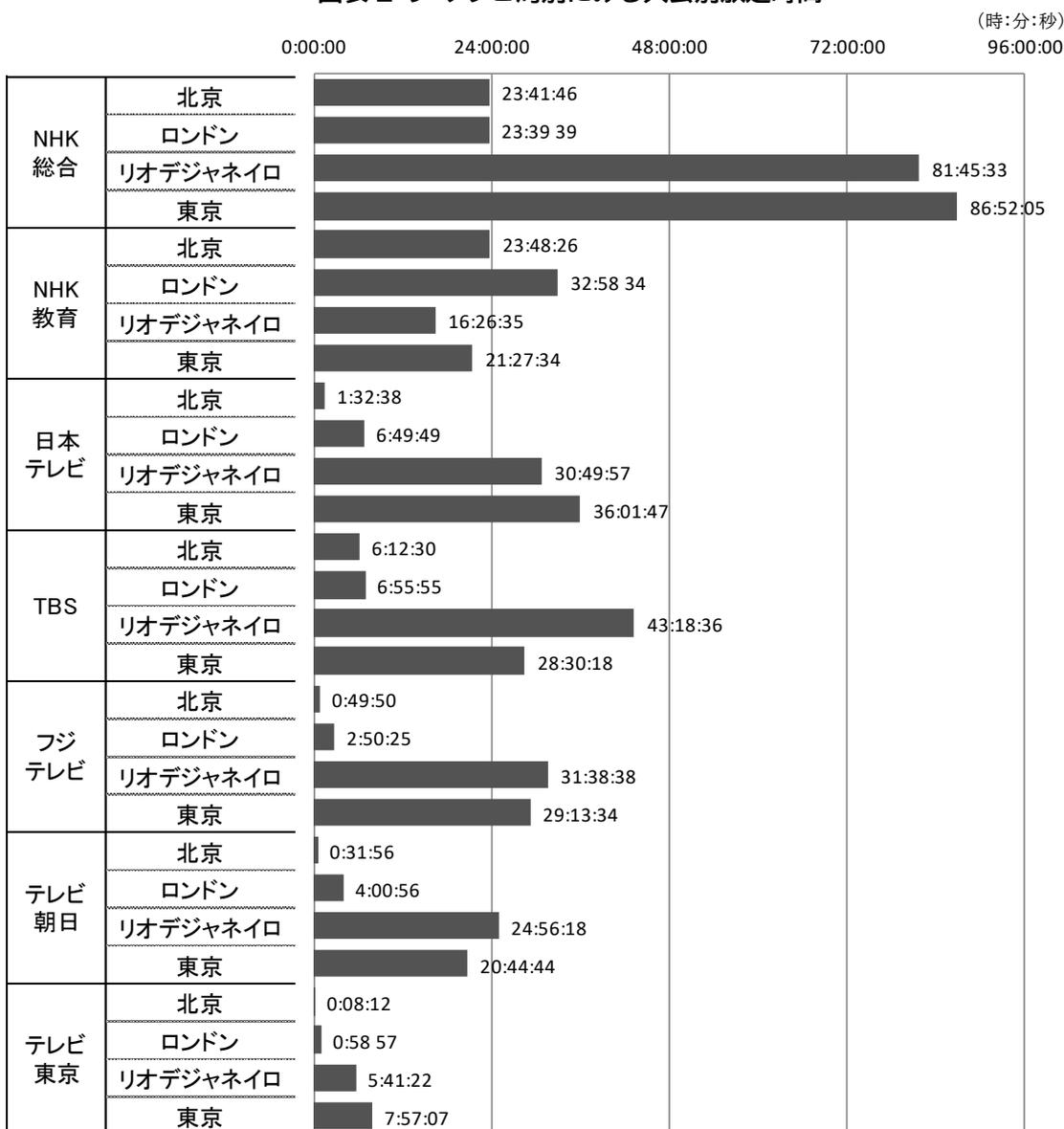
注) 番組カテゴリーは番組自体の分類を指し、番組内コーナーは番組内で取り上げたコーナーのことを指す。例えば、ニュース番組内のスポーツコーナーでパラリンピアンについての話題を取り上げた場合、番組カテゴリーは「ニュース／報道」、番組内コーナーは「スポーツ」となる。

2. メディア放送時間(クロス集計)

2.1 テレビ局ごとにみた4大会の放送時間

テレビ局ごとに4大会の放送時間をみると、「NHK 総合」「NHK 教育」「日本テレビ」「テレビ東京」では、東京大会が最も多かったが、「TBS」「フジテレビ」「テレビ朝日」ではリオデジャネイロ大会から東京大会にかけて減少した(図表 2-9)。20 時間以上放送したテレビ局を大会別にみると、北京大会、ロンドン大会では「NHK 総合」「NHK 教育」の2 局、リオデジャネイロ大会では「NHK 総合」「日本テレビ」「TBS」「フジテレビ」「テレビ朝日」の5 局、東京大会では「NHK 総合」「NHK 教育」「日本テレビ」「TBS」「フジテレビ」「テレビ朝日」の6 局であった。

図表 2-9 テレビ局別にみる大会別放送時間



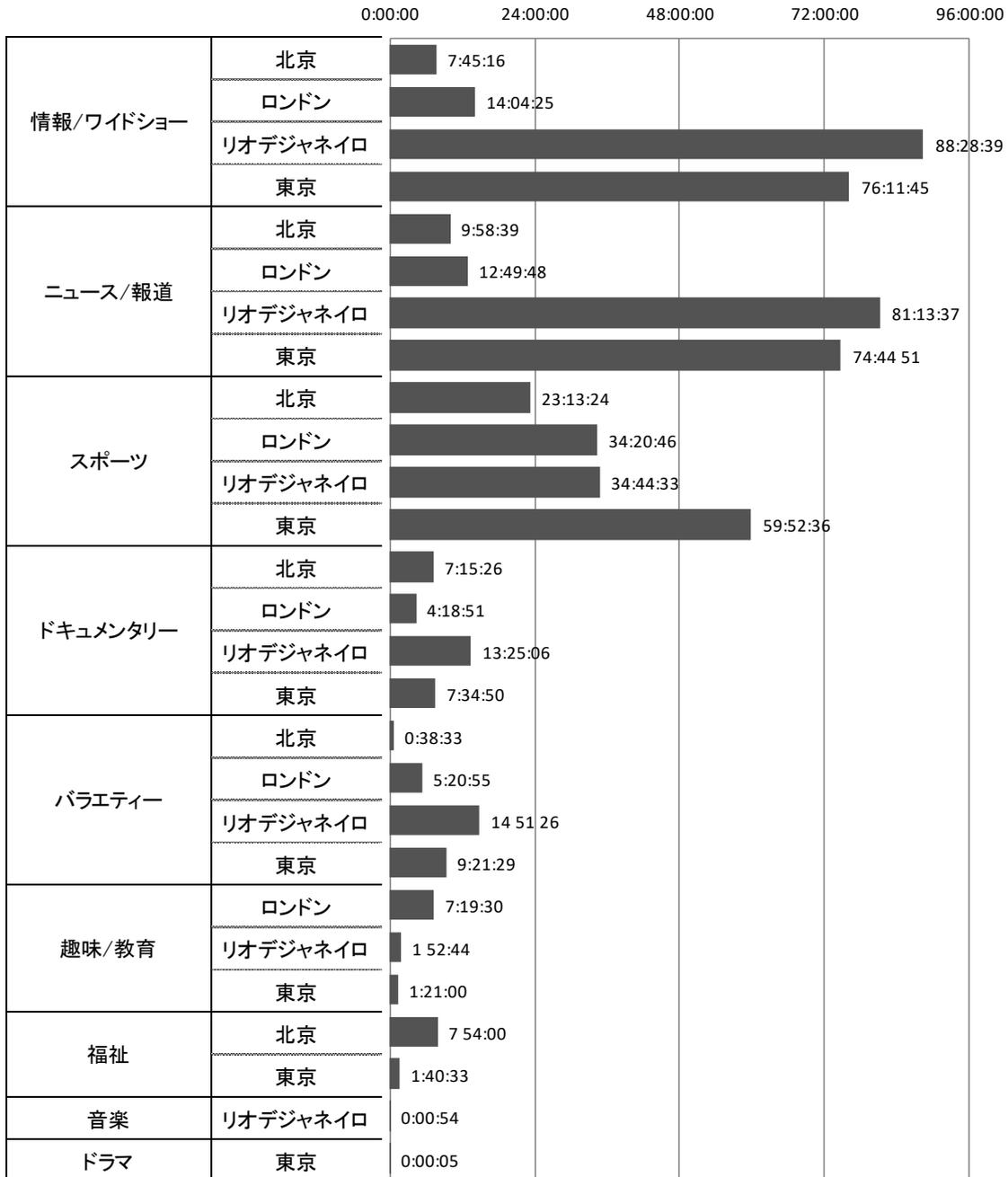
2.2 番組カテゴリー別にみる4大会の放送時間

番組カテゴリー別に4大会の放送時間をみると、「情報/ワイドショー」「ニュース/報道」では、リオデジャネイロ大会で急増した放送時間が東京大会で微減した(図表2-10)。「スポーツ」の放送時間は、ロンドン大会、リオデジャネイロ大会での変化はほとんどみられなかったが、東京大会で急増した。

テレビ局ごとに4大会の放送時間をみると、各テレビ局で番組カテゴリーは様々であった(図表2-11)。10時間以上の放送時間であったテレビ局の番組カテゴリーは、北京大会ではNHK教育「スポーツ」、ロンドン大会ではNHK総合とNHK教育「スポーツ」であったが、リオデジャネイロ大会では、NHK総合「ニュース/報道」「スポーツ」、日本テレビ「情報/ワイドショー」「ニュース/報道」、TBS「情報/ワイドショー」、フジテレビ「情報/ワイドショー」「ニュース/報道」、テレビ朝日「情報/ワイドショー」「ニュース/報道」、東京大会では、NHK総合「情報/ワイドショー」「ニュース/報道」「スポーツ」、NHK教育「スポーツ」、日本テレビ「情報/ワイドショー」「ニュース/報道」、TBS「情報/ワイドショー」、フジテレビ「情報/ワイドショー」、テレビ朝日「情報/ワイドショー」であった。東京大会でNHK総合「ニュース/報道」「スポーツ」が30時間を超えた一方、リオデジャネイロ大会で30時間を超えていたTBS「情報/ワイドショー」が東京大会では半減したのが特徴的であった。

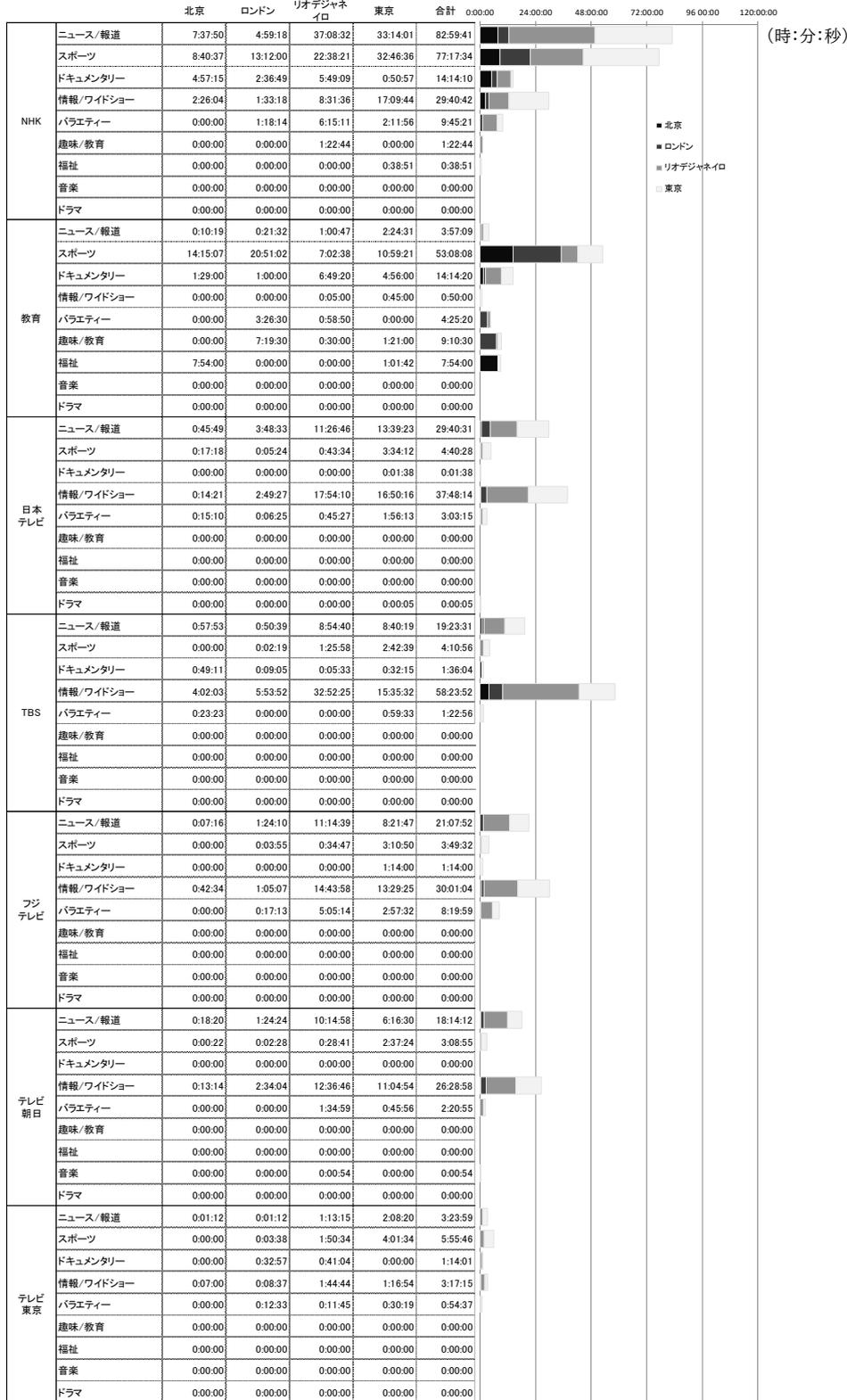
図表 2-10 番組カテゴリー別にみる大会別放送時間

(時:分:秒)



注) 番組カテゴリーは番組自体の分類を指し、番組内コーナーは番組内で取り上げたコーナーのことを指す。例えば、ニュース番組内のスポーツコーナーでパラリンピアンについての話題を取り上げた場合、番組カテゴリーは「ニュース/報道」、番組内コーナーは「スポーツ」となる。

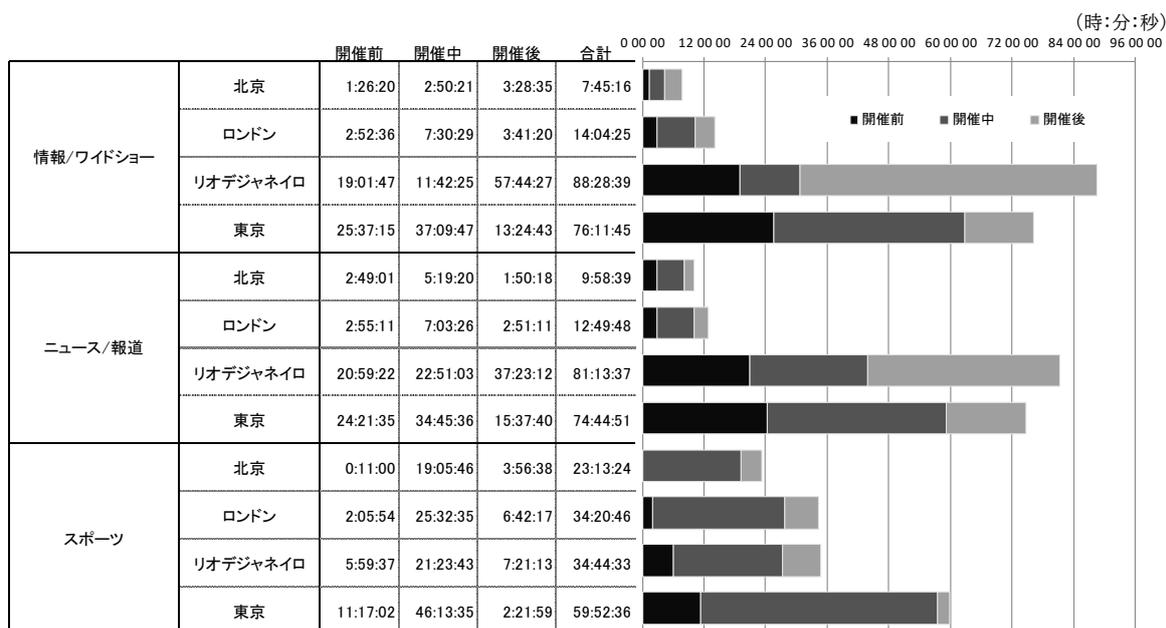
図表 2-11 テレビ局の番組カテゴリー別にみる大会別の放送時間



注) 番組カテゴリーは番組自体の分類を指し、番組内コーナーは番組内で取り上げたコーナーのことを指す。例えば、ニュース番組内のスポーツコーナーでパラリンピアンについての話題を取り上げた場合、番組カテゴリーは「ニュース/報道」、番組内コーナーは「スポーツ」となる。

番組カテゴリー別の4大会の放送時間を「開催前」「開催中」「開催後」に分けてみると、「スポーツ」は、4大会ともに、「開催中」が最も放送時間が多く、東京大会では倍増した(図表 2-12、2-13)。一方で、「情報/ワイドショー」「ニュース/報道」の「開催後」の放送時間が、急増したリオデジャネイロ大会から、東京大会では一転して、「情報/ワイドショー」で約3分の1、「ニュース/報道」で約2分の1に激減したのが特徴的であった。

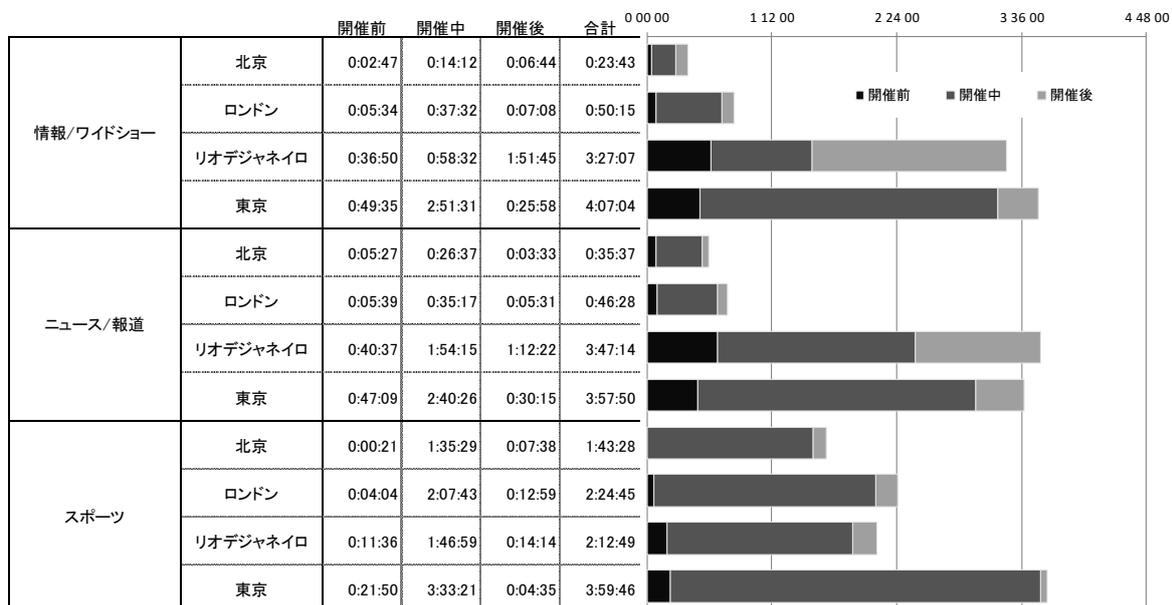
図表 2-12 テレビ局の番組カテゴリー別(上位3カテゴリー)にみる大会別放送時間



注) 番組カテゴリーは番組自体の分類を指し、番組内コーナーは番組内で取り上げたコーナーのことを指す。例えば、ニュース番組内のスポーツコーナーでパラリンピアンについての話題を取り上げた場合、番組カテゴリーは「ニュース/報道」、番組内コーナーは「スポーツ」となる。

図表 2-13 テレビ局の番組カテゴリー別(上位 3 カテゴリー)にみる大会別一日平均放送時間

(時:分:秒)



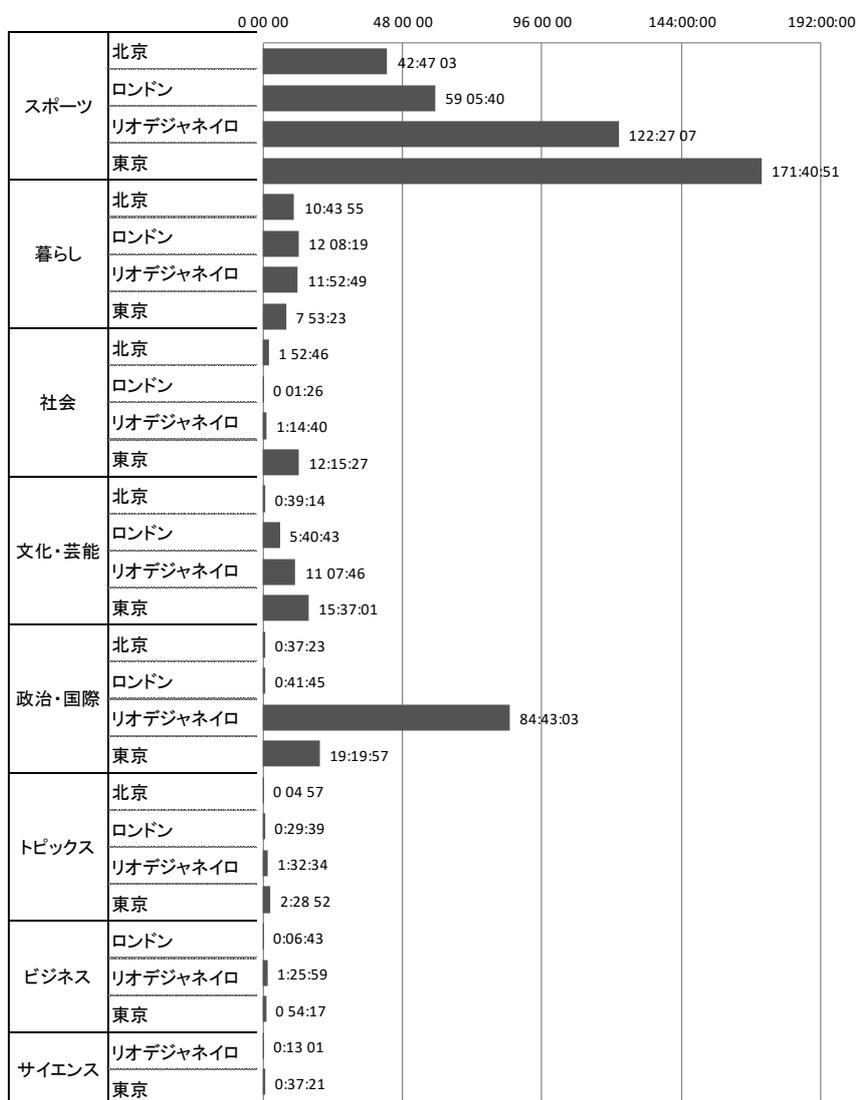
注) 番組カテゴリーは、番組自体の分類を指し、番組内コーナーは番組内で取り上げたコーナーのことを指す。例えば、ニュース番組内のスポーツコーナーでパラリンピアンについての話題を取り上げた場合、番組カテゴリーは「ニュース/報道」、番組内コーナーは「スポーツ」となる。

2.3 番組コーナー別にみる大会別の放送時間

番組内で取り上げられたコーナー別に4大会の放送時間をみると、過去4大会ともに「スポーツ」コーナーで取り上げられる放送時間が最も多く、その中でも、北京大会(42時間47分3秒)から3倍増となったリオデジャネイロ大会(122時間27分7秒)よりさらに増加して、東京大会では171時間40分51秒であった(図表2-14)。

過去3大会では、ほとんど取り上げられなかった「社会」コーナーにおいても、東京大会では約12時間取り上げられた。

図表2-14 番組内コーナー別にみる大会別の放送時間 (時:分:秒)



注) 番組カテゴリーは、番組自体の分類を指し、番組内コーナーは番組内で取り上げたコーナーのことを指す。例えば、ニュース番組内のスポーツコーナーでパラリンピアンについての話題を取り上げた場合、番組カテゴリーは「ニュース／報道」、番組内コーナーは「スポーツ」となる。

3. 東京大会日本代表選手別の放送時間

東京大会に出場した日本代表選手 254 人のうち、「開催前」「開催中」「開催後」の合計の放送時間の多い上位 30 人は以下のとおりであった(図表 2-15)。上位 11 位までをメダリストが占めた。

図表 2-15 東京大会の放送時間が長い選手上位 30 人

NO.	氏名	ふりがな	競技	放映時間 合計
1	富田宇宙	とみた うちゅう	水泳	11:44:31
2	木村敬一	きむらけ いいち	水泳	11:35:45
3	国枝慎吾	くにえだ しんご	車いすテニス	10:41:44
4	上地結衣	かみじ ゆい	車いすテニス	8:02:01
5	杉村英孝	すぎむら ひでたか	ボッチャ	7:49:21
6	佐藤友祈	さとう ともき	陸上競技	7:41:36
7	道下美里	みちした みさと	陸上競技	7:21:53
8	山田美幸	やまだ みゆき	水泳	6:51:32
9	池崎大輔	いけざき だいすけ	車いすラグビー	6:19:52
10	鈴木孝幸	すずき たかゆき	水泳	6:17:12
11	池透暢	いけ ゆきのぶ	車いすラグビー	6:01:16
12	岩淵幸洋	いわぶち こうよう	卓球	4:46:52
13	日向楓	ひなた かえで	水泳	4:43:51
14	杉浦佳子	すぎうら けいこ	自転車競技	4:26:48
15	伊藤智也	いとう ともや	陸上競技	4:21:39
16	倉橋香衣	くらはし かえ	車いすラグビー	4:21:19
17	鳥海連志	ちょうかい れんし	車いすバスケットボール(男子)	4:08:55
18	山本篤	やまもと あつし	陸上競技	3:57:57
19	谷真海	たに まみ	トライアスロン	3:42:01
20	村岡桃佳	むらおか ももか	陸上競技	3:23:38
21	山口尚秀	やまぐち なおひで	水泳	3:16:20
22	藤本怜央	ふじもと れお	車いすバスケットボール(男子)	3:10:26
23	岡崎愛子	おかざき あいこ	アーチェリー	3:09:59
23	里見紗李奈	さとみ さりな	バドミントン	3:09:59
25	唐澤剣也	からさわ けんや	陸上競技	3:02:10
26	瀬立モニカ	せりゅう もにか	カヌー	2:43:03
27	和田伸也	わだ しんや	陸上競技	2:41:48
28	香西宏昭	こうざい ひろあき	車いすバスケットボール(男子)	2:37:12
29	川村怜	かわむら りょう	5人制サッカー	2:34:41
30	島川慎一	しまかわ しんいち	車いすラグビー	2:32:09

「開催前」「開催中」「開催後」ごとの放送時間の多い上位 10 人は以下のとおりであった(図表 2-16)。

図表 2-16 東京大会の放送時間が長い選手上位 10 人(開催前・開催中・開催後)

No.	開催前			開催中			開催後		
	氏名	実施競技	放映時間	氏名	実施競技	放映時間	氏名	実施競技	放映時間
1	木村敬一	水泳	2:56:35	上地結衣	車いす テニス	6:26:35	道下美里	陸上競技	3:55:57
2	池透暢	車いす ラグビー	2:45:15	富田宇宙	水泳	6:09:35	国枝慎吾	車いす テニス	3:40:39
3	富田宇宙	水泳	2:35:03	鈴木孝幸	水泳	5:57:45	木村敬一	水泳	3:32:05
4	池崎大輔	車いす ラグビー	2:20:26	国枝慎吾	車いす テニス	5:16:54	富田宇宙	水泳	2:59:53
5	倉橋香衣	車いす ラグビー	2:12:00	木村敬一	水泳	5:07:05	佐藤友祈	陸上競技	2:38:11
6	村岡桃佳	陸上競技	2:04:41	杉村英孝	ポッチャ	4:43:04	杉村英孝	ポッチャ	2:32:16
7	国枝慎吾	車いす テニス	1:44:11	佐藤友祈	陸上競技	4:33:51	伊藤智也	陸上競技	2:25:41
8	島川慎一	車いす ラグビー	1:41:22	山田美幸	水泳	4:29:35	山田美幸	水泳	2:14:53
9	岩渕幸洋	卓球	1:38:44	池崎大輔	車いす ラグビー	3:59:26	鳥海連志	車いす バスケット ボール	1:55:48
10	道下美里	陸上競技	1:38:06	杉浦佳子	自転車競技	3:25:54	山本篤	陸上競技	1:35:24

4. まとめと考察

東京 2020 パラリンピック競技大会の開催が決定した 2013 年以降、パラリンピックや障害者スポーツに関するテレビ番組が増えた。本調査は、2016 年度に調査を実施した北京大会、ロンドン大会、リオデジャネイロ大会の地上波テレビ放送時間に、東京大会の放送時間を追加して集計・分析したものである。

大会別の放送時間をみると、リオデジャネイロ大会は、北京大会から約 4 倍増、ロンドン大会から約 3 倍増と急増したが、東京大会はリオデジャネイロ大会からの大きな増加はみられなかった。放映時間を「開催前」「開催中」「開催後」に分けてみると、その要因がみえてくる。北京大会と東京大会を比較すると、「開催前」では約 6 倍増、「開催中」では約 4 倍増、「開催後」は約 3 倍増と、いずれも北京大会から増加した。「開催後」の放映時間は、リオデジャネイロ大会では、北京大会から約 10 倍増、ロンドン大会から約 7 倍増と、東京大会に向けて、各テレビ局が一斉に注目を向け始めたことを示唆していたが、東京大会では一転して、リオデジャネイロ大会の放送時間の 3 分の 1 に減少した。減少の理由としては、①開催後の期間（2021 年 9 月 6 日～2021 年 10 月 5 日）が自民党の総裁選の時期と重なり、各局の番組編成内容の優先順位が変わってしまったこと、②各テレビ局の取材班・取材チームがパラリンピック終了に合わせて縮小・解散したこと、③東京大会の 1 年延期により、後ろ倒しになっていた担当記者の人事異動が、2021 年の東京大会終了後のタイミングで行われ、継続的な取材・情報収集が十分にできなかったこと、④従来であれば、メダリストをはじめ、大会で活躍した選手がテレビ番組に出演していたが、コロナ禍での大会だったということもあり、出演する機会自体が減少したこと、⑤コロナ禍で祝勝会や祝賀イベントなどが自粛され、公の場に登場する機会を逸したために露出が減少したこと、などが挙げられる。

テレビ番組のカテゴリーでみると、リオデジャネイロ大会で急増した「情報／ワイドショー」「ニュース／報道」は、東京大会でいずれも減少した。その一方で、「スポーツ」はロンドン大会とリオデジャネイロ大会ではほとんど放送時間に変化はなかったが、東京大会では約 2 倍増となった。

テレビ番組内のコーナー別でみると、4 大会すべてにおいて「スポーツ」が最も多かった。2016 年度調査同様、ニュース報道、ワイドショーなどの番組内スポーツコーナーにおいて、パラリンピックに関する内容を取り上げていたと推察する。北京大会、ロンドン大会ではほとんど取り上げられなかった「政治・国際」コーナーは、リオデジャネイロ大会ではロシアのドーピング問題で 80 時間超の放送時間であったが、東京大会ではコロナ禍での大会関係者の来日、選手村での滞在者の行動などが理由で約 20 時間を割いたと思われる。

テレビ局別にみると、4大会の合計放送時間は「NHK 総合」が最も多く、ついで「NHK 教育」「TBS」となっている。北京大会、ロンドン大会は、民放テレビ局の放送時間は少なく、「NHK 総合」「NHK 教育」が放送時間の大部分を占めていたが、リオデジャネイロ大会では民放テレビ局が放送時間を総じて増やした。ロンドン大会では、ジャパンコンソーシアムとしてNHKと民放テレビ局の共同放送体制をとっていたが、リオデジャネイロ大会、東京大会の独占放映権をNHKが獲得したことにより、リオデジャネイロ大会で「NHK 教育」から「NHK 総合」に放送時間の割合を大きくシフトさせた。こうした変化は、NHKがパラリンピックや障害者スポーツを、これまでの福祉的、教育的観点の放送から、スポーツとして放送する方針に変更したからだと推察できる。

東京大会に出場した選手の放送時間をみると、1位富田宇宙(水泳)、2位木村敬一(水泳)、3位国枝慎吾(車いすテニス)、4位上地結衣(車いすテニス)、5位杉村英孝(ボッチャ)と、メダリストが上位11位までを占めた。

(小淵和也)